山国地区 三世代田植え交流会

6月17日、山国公民館周辺で『三世代田植え交流会』が開催されました。

参加された皆さんは、昨年植えた餅米で、餅をつくるほか、来年の餅の材料となるもち米と、酒米・山田錦を手作業で植えました。

参加した稲岡晃生さん（社小3年）は「苗を植えるのが楽しかったです。来年も、植えたもち米でお餅を作るのが楽しみです」と泥んこになりながら話してくれました。

大きな玉ねぎたくさん採れたよ！

6月18日、牧野地区内の圃場で、三草小学校児童と三草こども園園児、社高校生活科学科生徒が、玉ねぎを収穫しました。

両手をそえて玉ねぎをやさしく収穫します。手より大きい玉ねぎを収穫するときは、なかなか取れずに一苦労。お友達と協力したり、高校生と一緒に取ったりと、とても楽しそうな声が飛び交いました。

圃場に用意された500kg分の玉ねぎが収納できる大きな鉄の箱まで玉ねぎを運ぶのは重たくて大変です。大きな鉄の箱が、あっという間に玉ねぎでいっぱいになりました。

初めて参加した髙瀬将平さん（りす組）は、「大きな玉ねぎが取れて、とても楽しかったよ」と、笑顔で話してくれました。

どんな曲になるのかな♪

加東文化振興財団が、小学生を対象に2012年から実施している「おん☆かつ」。今年は、福田小学校で歌詞作りのワークショップが行われ、昨年にピアノ・デュオ「デュエットゥ」が、加東市をイメージして作曲した「加東市だけの花がさいた」。この曲に歌詞をつけてはどうかという声を多数受けて、この度、児童と一緒に、作詞に取り組みました。

6月19日、米田小学校で開催されたワークショップでは、5・6年生が加東市や友達のことを思い浮かべながら、歌詞に合う言葉を発表します。「ふるさとの」「えがおさく」「ゆめえがく」など、友達の発表を聞いてどんどん言葉が出てくるので、みんな生き生きとしていました。

「加東市だけの花がさいた」は、デュエットゥと編曲者で完成させたものが、2学期に学校へ届けられるとのことです。

華やかで温かなメロディに、どんな歌詞が付くのか、そして、どんな花を咲かせるのか、とても楽しみですね。

稲尾地区 虫送り

6月30日、稲尾地区伝統の『虫送り』が開催されました。

この行事は、かつて、稲の害虫駆除や豊作を祈願して多くの地域で行われていましたが、時代とともに、行う地域が少なくなりました。稲尾地区も例外ではありません。しかし、平成15年に三世代交流や村おこしとして、復活。以後、毎年行われています。

今年も多くの参加者が、松明を持ち『稲の虫ご上洛、実盛さんのお供せい』と唱えながら、練り歩きました。『ふるさと加東』では、このように伝統行事が引き継がれていきます。

地域土曜ふれあい活動

6月30日、東条東小学校区内の地区公民館などで、同小児童が様々な活動を通じて地域の人々とふれあう『地域土曜ふれあい活動』が開催されました。

地区の子ども会を中心に企画されるため、毎年、多種多様な内容となる地域ふれあい活動。今年は南山地区の七夕飾り作りを取材しました。

開催された、加東市南山活性化支援施設Mina-Kuru（ミナクル）には、参加した小学生とその保護者・地域のみなさんが200人以上参加されていました。

参加者のみなさんは、短冊に願いを書いたほか、七夕飾りやボランティアサークル『あざみフローラル』による合唱、M'smileによる太鼓の演奏などを楽しみました。

参加した岡林歩紗さん（東条東小6年）は「いろんな人と楽しい時間を過ごすことができてよかったです」と話してくれました。

社高校 陸上競技部 男子バレーボール部 全国インターハイへ！

陸上競技部

110mH、400m、400mH、走り高跳び、棒高跳び、4×100mリレーの6種目で、全国への切符を掴んだ陸上競技部。400mHに出場する藤原誉さんは「中盤の200-300mあたりでノビるのが、自分の強みです。楽しんで走り、優勝を狙います」と熱い思いを。また、走り高跳びで出場する柴田涼太郎さんは「自分の強みは、周りに音が聞こえるほどの踏み切り。5試合連続で自己ベストを更新しつづけているので、この勢いにのり、優勝を目指したいです」と意気込みを語りました。

2年ぶり21回目の出場 男子バレーボール部

2年ぶり21回目の出場となる男子バレーボール部。主将の藤井侃さんは「1年生のときに出場した際は、先輩方の試合を見ているだけでしたが、今回はチームを引っ張っていき、どのように勝ち上がるかを考える必要があると感じています。簡単にボールを落とさない『泥くささ』というチームの強みを活かして、良い結果を残したいです」と闘志を燃していました。

Zoom in 加東 社高校文化祭 書道パフォーマンス

6月14日と15日、社高校で文化祭が開催されました。15日は書道部のみなさんにより、恒例の書道パフォーマンスが行われ、大きな紙に、大勢の部員たちが力を合わせて、一つの作品を作り上げました。今年の大文字は『邁進』。この文化祭で引退となる3年生に対しては、「大学受験など、それぞれの目標に向かって」、また1・2年生たちに対しては、「書道部員として」邁進してほしいという願いが込められているそうです。

同部部長の長谷川彩奈さんは「本番になって、これまでの中で一番良い作品ができて感動しました。書道部では、部長を務めさせさせていただき、今までに無い自信がつきました」と話してくれました。

100歳おめでとうございます

豊﨑（とよさき） 君子（きみこ）さん（天神）

大正7年6月19日生まれ
伽の里の皆様からも祝福されました。

神戸（かんべ） 孝子（たかこ）さん（光明寺）

大正7年6月26日生まれ
90歳まで歌と踊りを楽しまれていました。

平成30年7月18日現在で　市内に住民票のある100歳以上の方32人（男性3人　女性29人）